

地域の畜産関係者や飼料メーカーが連携する畜産クラスター事例⑦ 長野県

なんしん しりょうようまい りょうふきゅう きょうぎかい
南信飼料用米利用普及協議会

飼料用米、リンゴジュース粕等を利用した高付加価値で且つ安価な飼料を製造し、乳牛へ給与することにより、飼料コストの低減を図り収益力向上を実現する

畜産クラスター

生産者集団等

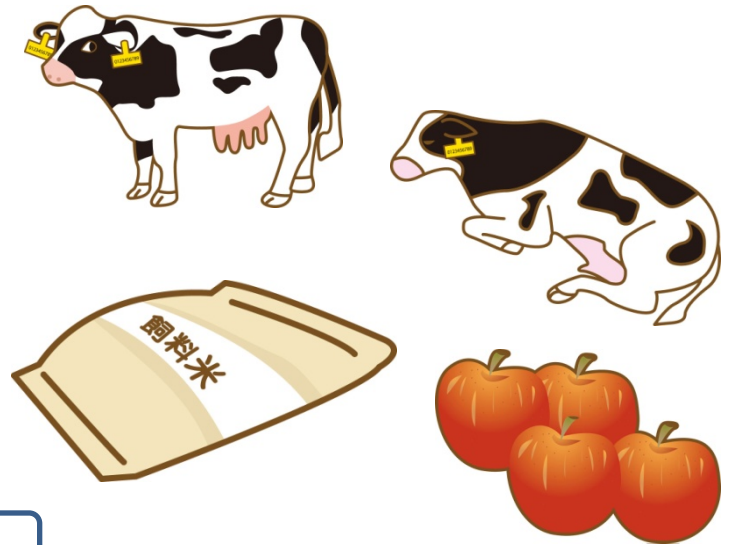
- ・伊那酪農業協同組合（生産者等調整、技術指導等）
- ・上伊那農業協同組合（飼料用米供給等）
- ・城田牧場（飼料用米給餌・実証）

行政関連、事業進行

- ・（一社）長野県農協地域開発機構（事務局）
- ・長野県（実証指導・助言等）

飼養管理技術支援

- ・（株）イトウ精麦（飼料用米加工・TMR調製実証）
- ・中央オリオン販売（株）（採食量データ等の収集・技術支援）



実証内容

○飼料用米の発芽、圧ペン加工、ペレット化による高付加価値飼料の製造及び地域の飼料用米とリンゴジュース粕等の地域資源を利用した嗜好性が高く、長期保存可能な発酵TMRの製造、給与実証を行い、調製技術の開発等を実証
この結果を踏まえ、南信地域の飼料コストの低減を図る

効果

【飼料コストの低減】

配合飼料価格58円/kg → 52円/kg

TMR飼料価格41円/kg → 36円/kg

【飼料自給率の向上】

穀類の自給率 0% → 20%

粗飼料自給率 80% → 80%

地域全体で20.1百万円(62.1百万円)の収益増

【地域の収益性向上】

1頭当たり 配合飼料 2,800kg/年

TMR飼料 10,360kg/年

1頭あたりコスト低減額 16,800円/年(配合)

[51,800円/年(TMR)]

1,200頭* × 16,800円 = 約20.1百万円(配合)

[1,200頭* × 51,800円 = 約62.1万円(TMR)]

※伊那酪農業協同組合の搾乳牛飼育頭数